

まちづくりの理念は 福祉と教育の充実

創政クラブ 来田 守

①芦屋のまちづくりに山中市長は、今後どのような理念で臨むことができるのか。

山中市長のこれまでの期約四年間、芦屋のために全力投球をされて、財政再建に一定のめどをつけた。そのほか多くの実績を高く評価する。「芦屋ブランド」といわれる素晴らしい芦屋のまちづくりを、さらに発展させるため、今後どのような理念でもって市政を運営していくのか。

②財政の悪化で凍結されていた福祉センターが、このほど民間の福祉財団の支援を得て建設されることになった。地域福祉の拠点として機能が



福祉センター建設予定地(呉川町)

①本市では、先人の努力により、文化の香り高い、景観に配慮された美しいまちづくりがされてきた。今後は市民と行政の協働のもと、心豊かに安心して暮らせるまち、「自然環境を暮らしに活かすまち」、「ふれあいと文化を育てるまち」を基本理念とし、知性と気品に輝く活力ある国際文化住宅都市、世界中の人々が一度は訪れたいと思う清潔で美しいまちを築いていく。

現在の消防本部の 市民の安心安全を守る 消防庁舎について

ワークショップ 畑中 俊彦

立地は、北に阪神電鉄の踏切、南に国道四号線があり、東西方向へのアクセスもよく、緊急出動時の動線に非常に問題のある場所である。消防出初め式の後のパレードにおいても、北側の阪神電鉄踏切が開閉しており、消防車二台が踏切が開くまで立ち往生していた。このような状況からみると、市民の安心安全を守ることにできる万全の場所にあるとは、到底言えないものがある。

現在の消防庁舎の位置から南に二十メートル移動させただけで、なんら周辺環境が変わらない精道小学校体育館跡



現在の消防庁舎(精道町)

①市民の安心安全を守る。現在の消防本部の立地は、北に阪神電鉄の踏切、南に国道四号線があり、東西方向へのアクセスもよく、緊急出動時の動線に非常に問題のある場所である。消防出初め式の後のパレードにおいても、北側の阪神電鉄踏切が開閉しており、消防車二台が踏切が開くまで立ち往生していた。このような状況からみると、市民の安心安全を守ることにできる万全の場所にあるとは、到底言えないものがある。

②市民の安心安全を守る。現在の消防本部の立地は、北に阪神電鉄の踏切、南に国道四号線があり、東西方向へのアクセスもよく、緊急出動時の動線に非常に問題のある場所である。消防出初め式の後のパレードにおいても、北側の阪神電鉄踏切が開閉しており、消防車二台が踏切が開くまで立ち往生していた。このような状況からみると、市民の安心安全を守ることにできる万全の場所にあるとは、到底言えないものがある。

行革のため電子自治体 推進と防災の充実を

公明党 帰山 和也

山中市政の行革は、この四年度で着実に進捗している。地方債残高はいまなお九百億円を超えているが、地方分権への流れはより着実なものとなっている。市民への負担の軽減、市民サービスへの維持、向上を確保するため、防災行政無線の整備は不可欠である。現在検討中のシステムの内容、導入計画予算について伺う。



地域非常通信ネットワークシステム

電子自治体への対応では、電子決裁システムを含む文書管理システムと財務会計システムを平成十九年度から稼働する。業務の電子化で決裁処理の迅速化など事務処理の効率化を図り、業務目録の電子化で公文書公開への対応も促進したい。コスト削減で、財務会計処理を各所属課で行うことに伴い、コスト意識の向上や責任の明確化を図られる。また、会計事務担当職員が若干名削減やデータの電子化で紙資源の削減にもつながると考えられている。現在使用している地域非常通信ネットワークシステムは臨時の実験局である。新たな防災行政無線は住民へ災害情報等を直接かつ迅速に伝達する設備で、設置には約一億五千万円かかる。新たに導入した際の投資効果や運用上の問題点等を今後検討していく。

総括質問

質問 答弁

Q 新年度予算では定率減税廃止や年金課税で三億五千万円の増税 国保・介護保険の重い負担が市民に押し付けられ、格差と生活不安を一層広げる姿勢ではないか。高すぎる国保料を軽減し、生活困窮者からの保険証取り上げをやめ、特に病気の家族や子供のいる世帯への保険証発行を求める。

市民病院は民営化せず、自治体病院として存続し、地域医療の核として公的責任を果たすよう求めるがどうか。

全国一斉学力テストを小六と中三の全生徒対象に四月二十四日に行い、進研ゼミのペ

を交付しているが、病気の人や子供がいるという理由だけでは交付できない。公平性の観点からも病気になる前からではなく、納付難場合には常に窓口で相談してほしい。

増税・負担増の押し付け 格差を広げる予算は改めよ

日本共産党 田中えみこ

市民病院では、公立病院としてどのような運営形態にすべきか、改めて専門家を含めた委員会を設置し検討する。全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、教育施



国民健康保険の窓口

策の成果と課題を検証し、その改善を図るものである。本市でもその趣旨にのっとり、また、個人情報保護の問題については文部科学省の指示のもと実施していきたい。

温暖化防止対策と芦屋 病院のあり方について

英明クラブ 松木 義昭

①日本各地で温暖化防止の削減や環境への負荷の低減に向けた取り組みが行われている。本市ではどのような取り組みを行っているのか。また、循環型社会白書ではごみのリサイクル率は二〇三年度で一六・八パーセントである。本市で家庭から出るごみの量は増えているのか減っているのか。更にリサイクルによる回収率は近隣市に比べてどうか。

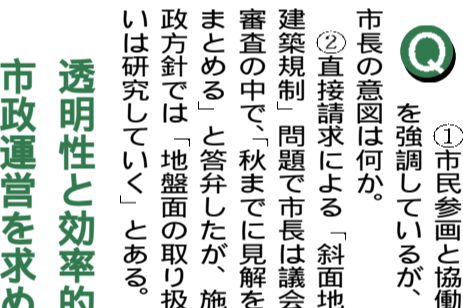
②昨年は、病院経営は医師や看護師などのマンパワーの上になり立っているが、今の改革はマンパワーの力を弱めており、それが患者数の減少となって出ていると指摘



環境処理センター(浜風町)

①温暖化防止対策で「芦屋市環境づくり推進会議」を核に、環境啓発や環境講座等を行っている。行政内部では温室効果ガス排出削減に取り組み、昨年見込みで受認の限度を超えている。今後は公設民営化など検討すべきではないか。

②「芦屋市環境づくり推進会議」を核に、環境啓発や環境講座等を行っている。行政内部では温室効果ガス排出削減に取り組み、昨年見込みで受認の限度を超えている。今後は公設民営化など検討すべきではないか。



市民病院

①市民参画と協働を強調しているが、市長の意図は何か。「斜面地建築規制」問題で市長は議会審査の中で、「秋までに見解をまとめる」と答弁したが、施政方針では「地盤面の取り扱いは研究していく」とある。

透明性と効率的な 市政運営を求める

新社会党 前田 辰一

①市民参画と協働を強調しているが、市長の意図は何か。「斜面地建築規制」問題で市長は議会審査の中で、「秋までに見解をまとめる」と答弁したが、施政方針では「地盤面の取り扱いは研究していく」とある。



芦屋ショッピングセンター

①市民参画と協働を強調しているが、市長の意図は何か。「斜面地建築規制」問題で市長は議会審査の中で、「秋までに見解をまとめる」と答弁したが、施政方針では「地盤面の取り扱いは研究していく」とある。

3月19日定例会閉会后 退職議員に花束を贈呈しました

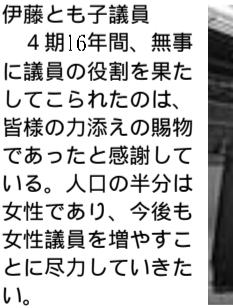
芦屋市議会の伊藤とも子議員(4期16年)、来田守議員(3期12年)、山田みち子議員(2期8年)、田中えみこ議員(7期28年)、青木中央議員(4期16年)、小川芳一議員(5期20年)の6人が、今期で退職する意向を示されました。今期議員の任期は6月10日(日)までですが、今回が任期中では最後の定例会となることから、本会議最終日の3月19日(月)に、議事がすべて終了し閉会した後、退職する6議員からあいさつを受けるとともに、花束を贈呈しました。6人の議員活動に対し、山中市長をはじめ、当局出席者や同僚議員、傍聴席から、温かい拍手が送られました。



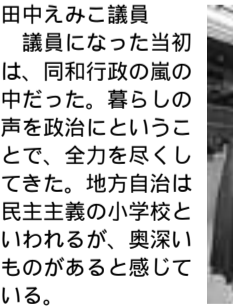
山田みち子議員 市民の皆様への応援があったからこそ、この8年間、走り続けてきた。この閉会を機に、今後は新たな人生を歩むことに決まっています。引き続き、市民の皆様から温かい拍手をお願いします。



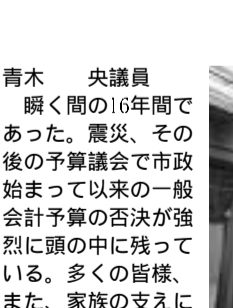
来田 守議員 議員になった当初は、震災復興事業に全力を上げて、その後の財政再建、さらに、私の長年のテーマである福祉の充実のために一生懸命に取り組んできた。芦屋市政発展のため、役に立ったのかと自問自答している。



伊藤とも子議員 4期16年間、無事に議員の役割を果たしてこられたのは、皆様からの力添えのおかげです。人口の半分は女性議員を増やすことに尽力していきたい。



田中えみこ議員 議員になった当初は、同和行政の嵐の中だった。暮らしの声を政治にというこで、全力を尽くしてきた。地方自治は民主主義の小学校といわれるが、奥深いものがあると感じている。



青木 中央議員 職間の16年間であった。震災、その後の予算議会での一般会計予算の否決が強烈に頭の中に残っている。多くの皆様、また、家族の支えに心から感謝申し上げます。



小川 芳一議員 光陰矢の如し、あっという間の20年でした。きびしい財政状況、トンネルの先に明かりが見えてきた。市民に夢を持たせる政策を今後も続けてほしい。その意味からも福祉センター建設を評価する。

本紙に使用の写真をご希望のたに差し上げます。市議会事務局(☎0797-38-2001)へお問い合わせください。